

平成 28 年 度 決 算 公 告

札幌市中央区大通西5丁目1番地2
常口セーフティ少額短期保険株式会社
代表取締役 萩野 克己

平成28年度(平成29年3月31日現在)貸借対照表

常口セーフティ少額短期保険株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現金及び預貯金	448,164	保険契約準備金	97,997
現 金	561	支払備金	3,258
預 貯 金	447,602	責任準備金	94,738
有形固定資産	5,249	代理店借	48,489
建物付属設備	4,440	再保険借	76,755
その他有形固定資産	809	その他の負債	69,100
無形固定資産	3,407	未払法人税等	10,081
ソフトウェア	3,379	未払費用	1,946
その他	28	預り金	756
代理店貸	-	賞与引当金	2,190
再保険貸	94,021	前受収益	54,125
貸倒引当金	△148		
その他の資産	56,884	負債の部合計	292,343
未収金	32,177	(純 資 産 の 部)	
前払費用	22,029	資 本 金	50,000
預託金	2,677	利益剰余金	332,395
		(その他利益剰余金)	(332,395)
		繰越利益剰余金	332,395
		自己株式	△39,220
繰延税金資産	16,939		
供託金	11,000	(株主資本合計)	343,175
		純資産の部合計	343,175
資産の部合計	635,518	負債・純資産の部合計	635,518

平成28年度

平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで

損益計算書

常口セーフティ少額短期保険株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	1,455,068
保険料等収入	1,451,835
保険料	748,214
再保険収入	703,621
回収再保険金	208,324
再保険手数料	447,588
再保険返戻金	47,708
責任準備金等戻入額	－
責任準備金戻入額	－
支払備金戻入額	－
その他経常収益	3,232
経常費用	1,384,699
保険金等支払金	980,311
保険金	219,288
解約返戻金	50,219
再保険料	710,803
責任準備金等繰入額	2,998
責任準備金繰入額	2,018
支払備金繰入額	980
事業費	400,920
営業費及び一般管理費	394,390
税金	3,641
減価償却費	2,585
賞与引当金繰入額	303
その他経常費用	468
経常利益	70,368
税引前当期純利益	70,368
法人税及び住民税	20,441
法人税等調整額	△768
当期純利益	50,695

【貸借対照表の注記事項】

1. 有形固定資産の減価償却は定率法（ただし、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物は定額法）、無形固定資産の減価償却は定額法を採用しております。
なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。（会計方針の変更）
法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当事業年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。
この結果、当事業年度の経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ233千円増加しております。
2. 貸倒引当金は債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について税法の法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しております。
3. 賞与引当金は、役員賞与および従業員の賞与に充てるため、支給見込額を基準として計上しております。
4. 消費税等の会計処理方法は税込み方式を採用しております。
5. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、契約金額が300万円未満のため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
6. 有形固定資産の減価償却額累計額は 6,537千円であります。
7. 繰延税金資産の総額は 16,939千円で、その内訳は普通責任準備金として15,784千円及び賞与引当金等によるものであります。
（追加情報）
「繰延税金資産の回収可能性に関する運用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当事業年度から適用しております。

8. 支払備金の内訳は、次のとおりであります。

支払備金(出再支払備金控除前)	65,174千円
同上にかかる出再支払備金	61,915千円
差引	3,258千円

9. 責任準備金の内訳は、次のとおりであります。

普通責任準備金	85,292千円
異常危険準備金	9,446千円
合計	94,738千円

10. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器の一部については、所有権移転外ファイナンスリースにより使用しております。

11. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

代理店貸等にかかる信用リスクについては適切に管理しリスク軽減を図っております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
現金および預金	448,164	448,164	—
代理店貸	—	—	—
再保険貸	94,021	94,021	—
代理店借	(48,489)	(48,489)	—
再保険借	(76,755)	(76,755)	—

①負債に計上されるものについては、()で示しております。

②これらの金融商品はいずれも短期で決済されるため、時価は簿価にほぼ等しいことから当該帳簿価格によっております。

12. 1株あたりの純資産額は 1,319,905円98銭であります。

算定上の基礎である純資産の部の合計額及び普通株式に係る当期末の純資産額は いずれも 343,175千円、1株当たり純資産額の算定に用いた当期末の普通株式の数は 260株であります。

13. 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

【損益計算書の注記事項】

1. 正味収入保険料の内訳は以下のとおりであります。

保険料	748,214千円
再保険返戻金	47,708千円
小計(イ)	795,922千円
再保険料	710,803千円
解約返戻金等	50,219千円
小計(ロ)	761,023千円
差引(イーロ)	34,899千円

2. 正味支払保険金の内訳は以下のとおりであります。

保険金等	219,288千円
回収再保険金	208,324千円
差引	10,964千円

3. 支払備金繰入額(△は支払備金戻入額)の内訳は、以下のとおりであります。

支払備金繰入額(出再支払備金控除前)	19,602千円
同上にかかる出再支払備金繰入額	18,622千円
差引	980千円

4. 責任準備金繰入額の内訳は、以下のとおりであります。

当年度普通責任準備金(イ)	85,292千円
前年度普通責任準備金(ロ)	84,205千円
異常危険準備金繰入額(ハ)	931千円
差引 (イ)－(ロ)＋(ハ)	2,018千円

5. 1株あたりの当期純利益は194,983円86銭であります。

1株あたりの当期純利益の算出には、期中平均発行済株式数(1,000株)から期中平均自己株式数(740株)を控除した260株で算出しています。

6. 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。